

JA阿波みよし 自己改革取組宣言

これまで、これからも、地域とともに
JA阿波みよしは『総合事業』を展開してまいります

「農業者の所得増大と農業生産の拡大へのさらなる挑戦」、「地域の活性化への貢献」、「経営基盤の強化と経営健全化」を基本目標に、積極的な事業展開に取り組んでまいります。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

- ◇JAは農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。
- ◇農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- ◇農業者以外の方でも、地域農業の発展や地域づくり、JA事業を応援していただける方は、地域農業・JAの応援団として准組合員に加入いただいております。
- ◇地域農業の振興には、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで事業運営をしているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農経済渉外担当者の配置や、農業施設投資が可能になります。
- ◇農業者のみならず准組合員の事業利用が地域農業の振興の一助となり不可欠です。
- ◇JAはこれからも総合事業を通じて、組合員・地域の皆さまとともに地域の農業やくらしを守り、協同の精神を次代につなげるための活動に取り組んでいきます。



加工用ネギ栽培研修ハウス

ここでは、総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けたJAの主な取り組みを紹介します。

1. 産地育成による農業生産の拡大と耕作放棄地への対策に向けた取り組み

【農産物販売高 7 億 600 万円】

耕作放棄地の解消と加工用ネギの産地形成づくりを図るため、加工用ネギ栽培の担い手育成研修ハウスを整備し、耕作放棄地の解消と農家所得の増大・地域振興に取り組んでいます。

2. 生産者コスト低減に向けた取り組み【生産資材供給高 6 億 1,450 万円】

営農指導を含めた高品質な生産資材の提案や資材価格低減策（自己引取や予約注文の奨励など）を積極的に活用し、生産コストの低減に取り組んでいます。

3. 地産地消の拡大に向けた取り組み【産直市生産者販売高 6,775 万円】

ふれあい産直市を通じて、食の大切さや地域農業・JAへの理解を深める活動を行い、安心安全な地元農産物を地域の皆様や管内の学校への提供に取り組んでいます。